

わーるど

第15号
2006. 6. 1

スワン市長 & ガバナー・スターリン高校一行来町!!

4月14日(金)～16日(日)まで、西オーストラリア州スワン市から市長をはじめ行政関係者8名、ガバナー・スターリン高校の副校長、教師2名、生徒13名、計24名が来町されました。スワン市、また、ガバナー・スターリン高校は、毎年、中学生海外派遣事業でお世話になっているところです。今年はとても良い雰囲気です。交流になりました。



1. 歓迎式

稲美町到着後、コミセンホールにて歓迎式を行ないました。来町された皆さんは、少し緊張した面持ちで自己紹介されるとともに、稲美町での3日間の滞在期間中、積極的な交流を誓いました。

ふれあい交流 “いなみの里” ホームステイ事業

ホストファミリーを募集!



受入期間 8月6日(日)～13日(日)
(8日間)

募集家庭 15家庭

申込資格 町内在住で国際交流に関心のある人

申込方法 次のいずれかの方法で申し込んでください。
①国際交流協会事務局(役場企画課)へ電話で申し込んでください。必要書類を送ります。(☎9130)
②国際交流協会事務局(役場企画課)まで直接お越しください。

申込締切 6月30日(金)

ティーパーティー

在住外国人の方をお招きし、ティーパーティーを開催します。皆さん気軽に楽しくおしゃべりしませんか?

6/11(日) 14:00～16:00
いきがい創造センターホール

外国料理教室

カナダの“チョコレート・バー”づくり

お父さん・お母さんと一緒にカナダのお菓子を作ってみませんか?加古川に住んでいるカナダ人のロバート・ダン先生に、ナッツやクリスピーの入ったあま〜いお菓子“チョコレート・バー”を教えてください。カナダのいろいろなお話しも聞けるかも?皆さんのご参加をお待ちしています!
とき 平成18年6月24日(土) 午後1:00～午後3:30
ところ いなみ文化の森ふれあい交流館 調理室
定員 先着12組(24名)(小学校3年生以上の子ども1名と大人1名)

参加費 会員 700円(1組) 非会員 1,000円(1組)
申込開始 平成18年6月5日(月)
申込・問合せ先 稲美町国際交流協会事務局

編集後記

4月から協会に参加させていただき、わずか2カ月の間に、次々と行事が開催され、色々な国の人々、そして、文化に触れることができました。異文化交流を通じて新しく知る楽しみ、何よりも人との出会いの素晴らしさを感じています。今後もたくさんの活動が計画されていますので、多くの方に参加いただいて、一緒に思い出を作れることを楽しみにしています。(T)

● 今年のふれあい交流 “いなみの里” スケジュール(予定) ●

8/6(日) 歓迎会	・対面式 ・歓迎会
8/7(月) 小学校訪問	・小学生との交流 ・PTAとの交流
8/8(火) フリータイム	・姫路城への オブショナルツアー
8/9(水) 町内見学会	・工場見学 ・中学生との交流 ・万葉茶会
8/10(木) 町内見学会	・老人クラブとの交流 ・農家見学 ・ふれあい交流会
8/11(金) フリータイム	
8/12(土) フリータイム	・大池まつり
8/13(日) お別れ会	・ホストファミリー 反省会

※スケジュールは変更することがありますのでご注意ください

会 員 募 集

楽しい事業を計画しています。あなたも会員になって国際交流に参加しませんか!

21世紀にふさわしい稲美町の国際交流を進めるため、稲美町国際交流協会の会員を募集します。多くの方のご加入により、活気があふれ、心と心がふれあう協会にしたいと思っておりますので、ご賛同をお願いします。

なお、会員の皆様には、各種イベントのご案内、イベント参加費の割引などの特典を予定しております。

【年会費】

・個人	1口	1,000円(中学生は500円)
・家族	1口	2,000円(同居)
・団体、法人	1口	10,000円

※ご加入いただけます方は、お手数ですが協会事務局までお問い合わせください。

平成17年度 稲美町国際交流協会 団体・法人会員
平成18年3月現在 50首順

- | | |
|-----------------|---------------|
| 赤松機器工業株式会社 | 友永クリニック |
| 稲美町老人クラブ連合会 | ナショナル護謨株式会社 |
| 大西整形外科 | 坂東歯科医院 |
| 印南養鶏農業協同組合 | 兵庫県信用組合 稲美支店 |
| 神戸鉄工中小企業協同組合 | 宮本医院 |
| 新関西衣料サービス株式会社 | 宮本歯科医院 |
| 辰巳歯科医院 | 六甲バター株式会社稲美工場 |
| 東洋ゴム工業株式会社兵庫事業所 | |

当協会では、皆様からいただいた会費を、国際交流に関する普及啓発等の諸事業に有効的に活用させていただいております。今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

6. 歓迎レセプション



スワン市長を始めとする24名の皆さんを歓迎するレセプションが、いきがい創造センターホールで開催されました。調理では稲美町いずみ会・JA兵庫南女性会、演奏では兵庫稲美少年少女合唱団の皆さんにご協力いただき、手作りのレセプションが開催されました。



4. 中学生との交流

新学期早々で大変忙しい時期だったにもかかわらず、稲美北中学校の皆さんにご協力いただき、充実した交流会ができました。様々な質問が互いから出てくるなど、有意義な時間を過ごしました。

2. そば打ち体験



いきがい創造センターのワーキングスペースで、印南野そば倶楽部の皆さんにご協力をいただき、そばを打ってもらいました。ポウイ君も手ほどきを受けながら、上手に生地を広げていました。

主なスケジュール

4月14日(金)

1. 歓迎式
2. そば打ち体験&昼食
3. 町内見学(さくらの森公園他)
4. 生徒 中学校交流
5. 行政関係 お茶席(野だて)・資料館見学

4月15日(土)

6. 歓迎レセプション

4月16日(日)

7. お別れ

※ 今回、全てのスケジュールにおいて、理事をはじめ多くの通訳ボランティアの方々にご活躍いただきました。

また、今後、こうした通訳を要する機会も増えてくることと考えており、皆さんから通訳ボランティアでの登録もお待ちしています。

詳しくは、稲美町国際交流協会事務局までお問い合わせください。



7. お別れ

それぞれの文化だけでなく、言葉の理解にも力を注いだ3日間。短い滞在期間ではありましたが、ホストファミリーとガバナースターリン高校の学生は、再会を誓いあいながら別れを惜しましました。

5. お茶席(野だて)



しだれ桜が満開に咲き誇る万葉の森では、ゆったりとした時間が流れるなかで、野だてを体験していただきました。また、バーバラ副市長夫人もお点前に挑戦され、皆さんにお茶を振る舞われました。

3. 町内見学(さくらの森公園)



桜が満開で、散った桜の花びらが、まるでじゅうたんを敷き詰めたようでした。高校生は無邪気に花びらを拾って投げあい、幻想的な光景が映し出されました。

4/29(土) 異文化理解講座

「中国あれこれ!日中の日常生活の相違点に迫る!」

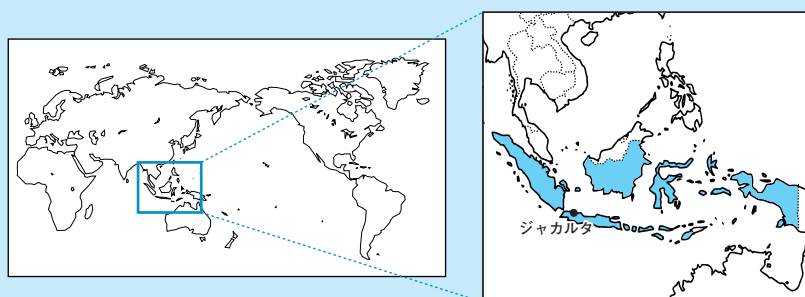
総会に続き、彭飛先生(京都外国語大学教授)を講師にお招きし、異文化理解講座を開催しました。

参加者は、中国の最新社会情勢に熱心に耳を傾けるとともに、「在住外国人が年々増えてきているこれからの多文化共生社会において、どのような付き合い方をしていくかが、今後新たに直面する地域の課題だ」とおっしゃられる先生の言葉に、真剣な面持ちで聞き入っていました。



▲講演に耳をかたむける参加者

インドネシアってどんな国?



正式名	インドネシア共和国 (Republic of Indonesia)
面積	189万平方キロ(日本の約5倍)
人口	約2.17億人
首都	ジャカルタ
主な人種	マレー系(ジャワ、スンダ等27種族に大別)
公用語	インドネシア語
宗教	イスラム教(87%)・キリスト教(10%)・ヒンズー教(2%)
通貨	ルピア (IDR)

4/23(日) ふれあいまつり

稲美町で研修中のインドネシアの方に協力いただき、インドネシアの家庭料理(ココナッツ風味ごはんやテンペのお惣菜など)を作っていただき、販売しました。

インドネシアの方は手際も良く、本当にやさしく思いやりのある好青年です。「ナシドック」は日本人の口にもよく合い、一時は長蛇の列が出来た程でした。



▲インドネシア料理を販売

2/19(日) 神秘の国「インドのヨガ体験」

アルジャン・グプタ氏を招き、インドの生活、文化、考え方についての講演と、ヨガを教えていただきました。とても好評で、ヨガを通じて国際交流が体験できたようです。

<感想>

- 「呼吸法」(ゆっくりはいて、ゆっくり吸う)がよくわかり、体がとても楽になりました。
- 異国の文化がわかり、インドに興味がわきました。
- 非常に有意義な講座でした。今後、国際交流について理解を深めていきたい。
- ヨガ体験すばらしかった。又、やってみたい。



▲ヨガを体験中の参加者